

2010年7月14日  
株式会社日立製作所

## 統合サービスプラットフォーム「BladeSymphony」に ハイエンドモデル「BS2000fx」を追加



「BS2000fx」



「BS2000fx I/O スロット拡張装置」

株式会社日立製作所(執行役社長:中西 宏明/以下、日立)は、統合サービスプラットフォーム「BladeSymphony」のラインアップに、I/O ボードの搭載場所やサーバブレードとの配線などを変更することなく、システム要件にあわせた I/O ボードの各サーバブレードへの割り当てが可能となり、システム構築や構成変更を容易に実現するハイエンドモデル「BS2000fx」を追加し、7月15日から販売を開始します。

また同時に、「BS2000」と「BS2000fx」で利用できる「高性能サーバブレード」を強化し、同日から販売を開始します。

近年、システム基盤としてクラウドコンピューティングが普及し、その対象は Web/アプリケーションサーバだけでなく、データベースなどユーザーの中核業務を担う基幹系システムまで拡大しており、これらの規模や用途の異なるシステムの統合や増大する運用管理コストの削減を実現する IT 基盤が強く求められています。

今回販売を開始する「BS2000fx」では、システム要件にあわせ I/O ボードを柔軟に割り当てることが可能なシステム拡張ファブリックでシステムを接続しているため、I/O ボードの搭載場所やサーバブレードとの配線などを変更することなく、システム構築や構成変更を容易に行うことができます。これにより、銀行、証券の勘定系システムや企業、社会インフラなどの基幹システムを周辺システムも含め効率的に集約・統合できるほか、プライベートクラウド基盤においても I/O ボードなどのリソースを柔軟に利用できるなどシステムの投資対効果を高めます。また、システム拡張などに伴う構成変更を迅速かつ容易にし、運用管理コストを低減します。

本製品では、サーバシャーシ最大 4 台(サーバブレード最大 32 台)と I/O ボードを増設する I/O スロット拡張装置最大 8 台(I/O ボード最大 128 枚)を、システム要件に応じ自由に組み合わせてシステムを構築できます。1 台のサーバシャーシと 1 台の I/O スロット拡張装置による構成から提供し、ユーザーの業務規模に応じたシステム構築を可能とします。

「BS2000fx」は、今後、プライベートクラウド向けソリューションを支えるプラットフォームとしても活用していくほか、日立のクラウドサービス拠点である Harmonious Cloud センタ<sup>(\*1)</sup>への導入も検討していきます。また、基幹系システムやクラウドコンピューティングに最適なプラットフォームとして、「BS2000fx」をはじめとした統合サービスプラットフォーム「BladeSymphony」の積極的な提案、導入を推進し、引き続きユーザーシステムの投資対効果の向上を推進します。

<sup>\*1</sup> Harmonious Cloud センタ：日立の環境配慮型データセンタ内に構築したクラウドサービス提供の拠点。クラウドサービス向けの機器を設置、運用するとともに、ユーザー企業のアプリケーションやパッケージのクラウドコンピューティング環境での検証を専門技術者が支援する。

## ■ハイエンドモデル「BS2000fx」の特長

### (1) システムの効率的な集約や迅速なシステム構成変更を実現

システム拡張ファブリックでサーバブレードと I/O ボードを接続することで、システム要件にあわせ、I/O ボードを各サーバブレードへ割り当てることが可能となります。これにより、周辺システムと多数の I/O ボードを必要とする大規模な基幹システムを効率的に集約・統合することができ、システムの投資対効果を高めます。

また、サーバブレードと I/O ボードの割り当てを、GUI(Graphical User Interface)操作で行う「ファブリック・コンソール」により、I/O ボードの搭載場所やサーバブレードとの配線などを変更することなく迅速かつ容易なシステム構築や構成変更を可能とし、運用管理コストを低減します。

### (2) 「N+1 コールドスタンバイ」構成のシステム構築費用を低減

障害時に予備システムへ切り替え、業務を継続できる「N+1 コールドスタンバイ」構成では、従来、I/O 構成が異なる業務システムごとに、予備システム用のサーバブレードと I/O ボードを用意する必要がありました。「BS2000fx」では、予備システムに切り替わる際、現用システムの I/O ボードを予備システムに引き継ぐことができるため、予備システム用の I/O ボードを用意する必要がなくなり、システム構築の費用を低減することが可能です。

### (3) 日立サーバ仮想化機構 Virtage (バタージュ) 連携による運用管理の容易化

本モデルでは、Virtage による仮想サーバを異なる物理サーバブレードに移動する際、仮想サーバが占有している I/O ボードを移動先でもそのまま利用することができます。これにより、従来 I/O ボードの移動の際に必要な煩雑なネットワーク設定などを不要とすることで、システムの計画保守などをより容易に実現でき、システム管理者の負荷を軽減します。

なお、最長 10 年間のハードウェア長期保守を可能とする「BS2000fx E タイプ」も「BS2000」同様に提供します。

## ■「高性能サーバブレード」の強化

「BS2000」と「BS2000fx」で利用できる「高性能サーバブレード」を強化し、現行の 2 倍となる最大 4 台のサーバブレードでの SMP<sup>(\*2)</sup>接続を可能としました。これにより、最大 64 コア/8 プロセッサ、最大 1 テラバイトのメモリを搭載する SMP サーバとして利用することができ、業務処理量に応じ、迅速に性能を拡張することが可能です。

<sup>\*2</sup> SMP(Symmetric Multi Processor)：複数の CPU で並行に処理を行い、あたかも 1 つの高性能な CPU のように動作させる技術

■新製品の価格と提供開始時期

製品	概要	価格	提供開始時期
「BS2000fx」	<p>【サーバシャーシ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバブレード 最大 8、 PCI Express スイッチ 最大 4、 LAN スイッチモジュール 最大 2、 マネジメントモジュール 最大 2</li> <li>・外形寸法 W:447×D:820×H:441(mm) (10U)</li> </ul> <p>【I/O スロット拡張装置】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PCI Express 2.0 スロット 16</li> <li>・外形寸法 W:445×D:700×H:174(mm) (4U)</li> </ul> <p>【サーバブレード】<sup>(*)3</sup></p> <p>高性能サーバブレード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インテル® Xeon® プロセッサ E7540(2GHz)/X7550(2GHz)/X7560 (2.26GHz) 最大2[8](最大16[64]コア)<sup>(*)4</sup></li> <li>・メモリ最大 256[1024]GB<sup>(*)4</sup></li> <li>・サーバ仮想化機構 Virtage 標準搭載 標準サーバブレード</li> <li>・インテル® Xeon® プロセッサ X5680(3.33GHz)/ X5670(2.93GHz)/ E5640(2.66GHz)/L5630(2.13GHz)/ E5503(2GHz) 最大2 (最大12コア)</li> <li>・メモリ最大 144GB</li> <li>・サーバ仮想化機構 Virtage 標準搭載</li> </ul>	546万8,400円 <sup>(*)5</sup> ～ (税抜520万8,000円～)	10月29日 <sup>(*)6</sup>
「BS2000」、「BS2000fx」 標準モデル用 高性能サーバブレード (4ブレードSMP構成) (OSレスモデル)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インテル® Xeon® プロセッサ E7540(2GHz)/X7550(2GHz)/X7560 (2.26GHz) 最大2[8](最大16[64]コア)<sup>(*)4</sup></li> <li>・メモリ最大 256[1024]GB<sup>(*)4</sup></li> <li>・サーバ仮想化機構 Virtage 標準搭載</li> </ul>	1,163万4,000円～ (税抜1,108万円～)	8月31日

\*3 高性能サーバブレード、標準サーバブレードの2種類から選択し利用できます。(混在利用も可)

\*4 [ ]は4ブレードでのサーバブレード間SMP構成時の数値です。

\*5 標準サーバブレード選択時の最小構成価格です。

\*6 I/Oボードを引き継ぎつつVirtageの仮想サーバを異なるサーバブレードに移動できる機能は12月末より提供を開始する予定です。

■統合サービスプラットフォーム「BladeSymphony」について

統合サービスプラットフォーム「BladeSymphony」は、ブレードサーバ、ストレージ、ネットワークを、システム管理ソフトウェアで一体化することで、システム全体の統合的な運用管理を実現する、システム基盤製品です。企業の基幹システムからPCサーバの統合まで幅広い用途で利用されているほか、日立クラウドソリューション「Harmonious Cloud」にも利用されており、ミッションクリティカルなクラウドコンピューティング環境を支えています。詳細は、<http://www.hitachi.co.jp/bds/> をご覧下さい。

■ 日立サーバ仮想化機構 Virtage について

Virtageは、2006年から統合サービスプラットフォーム「BladeSymphony」に搭載されている日立独自の仮想化機構です。日立がメインフレーム開発で培ってきた技術を生かし、ハードウェアの論理分割方式による仮想化を実現しています。オーバーヘッドを低減し物理サーバと同等の信頼性を保つことができるため、大規模システムや基幹データベースにも適用することが可能です。詳細は、<http://www.hitachi.co.jp/virtage/> をご覧下さい。

■ 日立クラウドソリューション「Harmonious Cloud」について

<http://www.hitachi.co.jp/cloud/>

■ 「日立 uVALUE コンベンション 2010」出展について

日立は、2010年7月22日～23日に東京国際フォーラムで開催する「日立 uVALUE コンベンション 2010」において、今回発表した「BS2000fx」を出展します。

「日立 uVALUE コンベンション 2010」のオフィシャルサイト <http://hitachi-uvcon.com/>

■ 他社商標注記

- ・インテル、Xeon は、米国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
- ・その他、記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。

■ 製品お問い合わせ先

HCA センター 電話:0120-2580-12

利用時間 9:00～12:00、13:00～17:00(土・日・祝日を除く)

以 上

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---